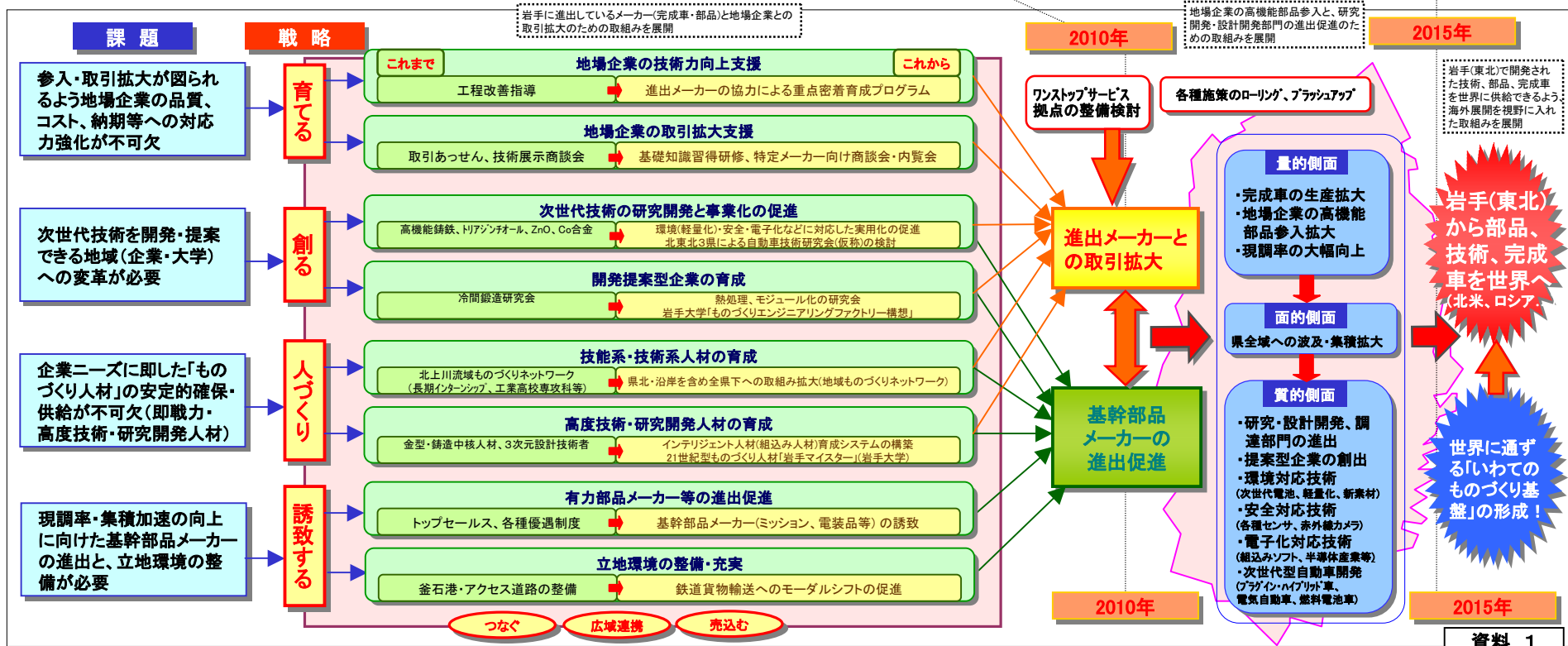
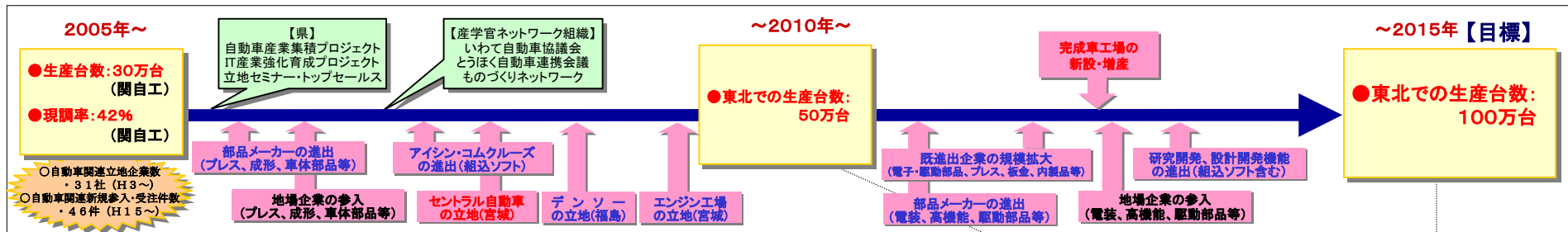


岩手県自動車関連産業成長戦略 ～とうほくでの自動車生産100万台を目指して～

資料 1

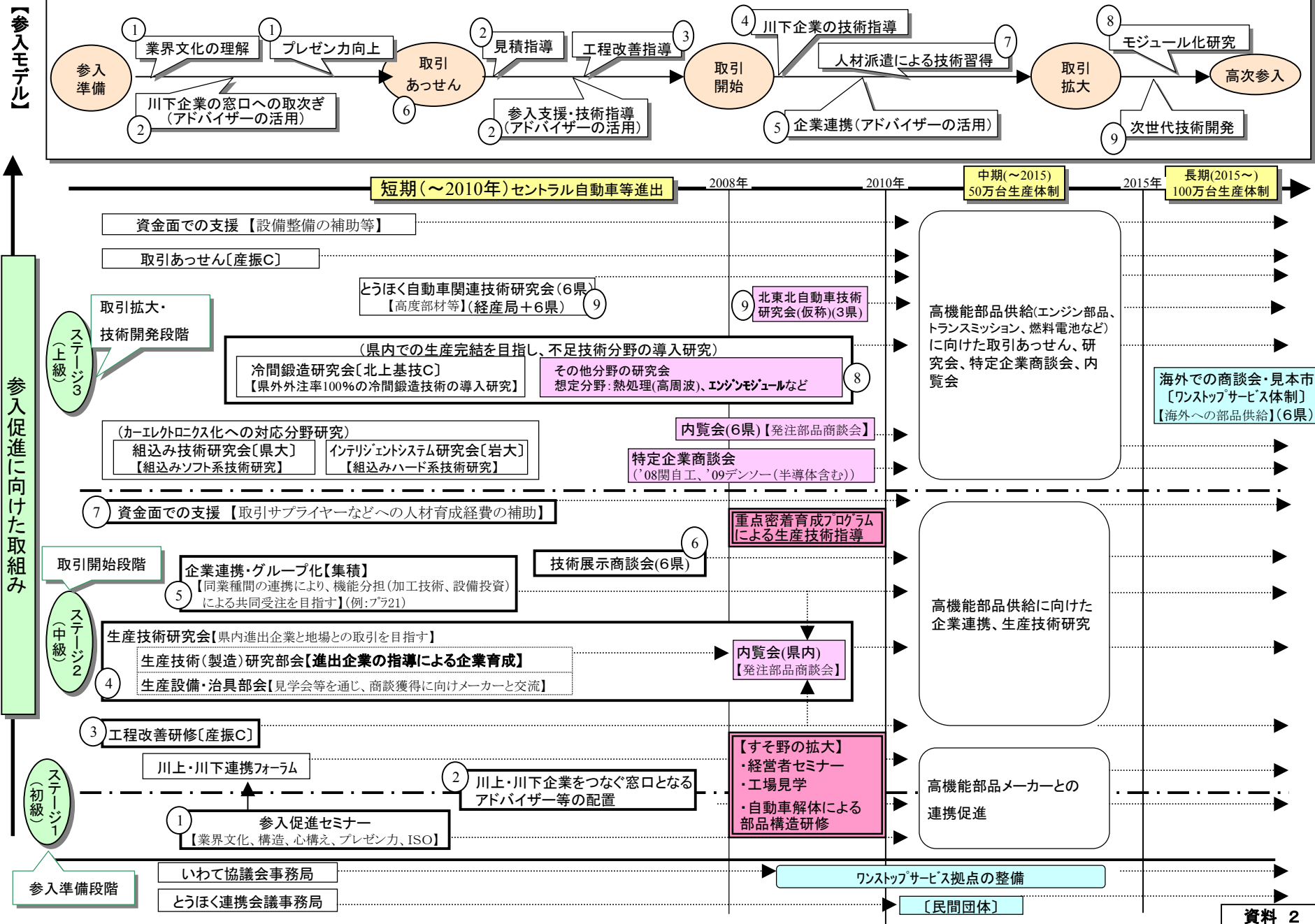
本県の現状	業界を取り巻く動向	新たな展開	本県の自動車産業の飛躍のチャンス	目指す姿	数値目標(2015年まで)
○関東自動車工業岩手工場・生産台数：30万台・地元調達率：42% ○自動車関連企業数：174社 ○輸送用機械出荷額：4,122億円 ○自動車関連輸出額：2,020億円	○自動車業界の国内回帰・重視・ホンダ、スズキ、トヨタ新工場建設 ○国内のマザー工場機能を強化 ○次世代技術開発の競争激化・環境、安全、電子化等	○セントラル自動車の移転進出(東北の自動車生産50万台へ) ○エンジン、エアコン工場等の東北進出 ○更なるサプライヤーの進出可能性大 ○地場企業の新規参入・取引拡大の可能性大	本県の自動車産業の飛躍のチャンス 一方で対応力の弱い本県のものづくり基盤 新たな戦略が必要	◎東北が中部、北部九州等に続く国内の新たな生産拠点としての地位を確立⇒岩手がその中核に ◎岩手から北米、北東アジア、極東ロシアなど世界に向けて部品や完成車、次世代技術を輸出する供給拠点へ ◎自動車産業を支える本県ものづくり基盤を確固たるもの⇒岩手を国内有数のものづくり産業集積地へ	◎東北域内での生産台数：100万台 ◎岩手県自動車関連企業数：220社 ◎岩手県輸送用機械出荷額：5,700億円 ◎岩手県自動車関連輸出額：3,000億円



資料 1

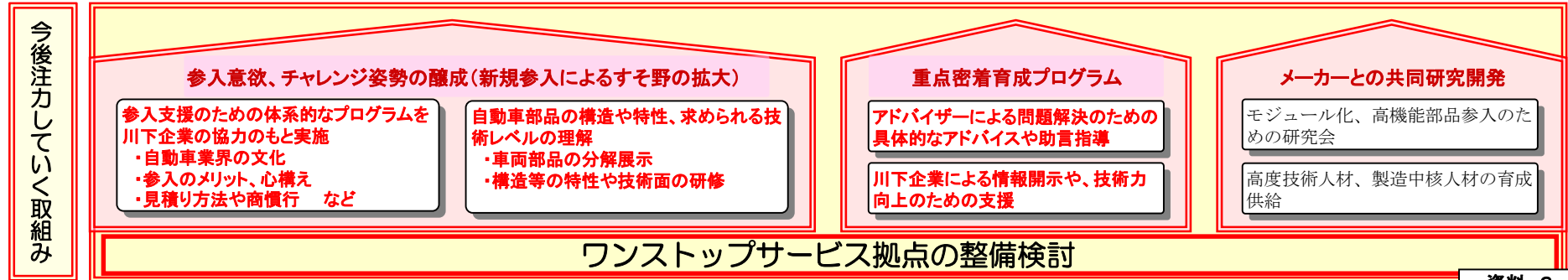
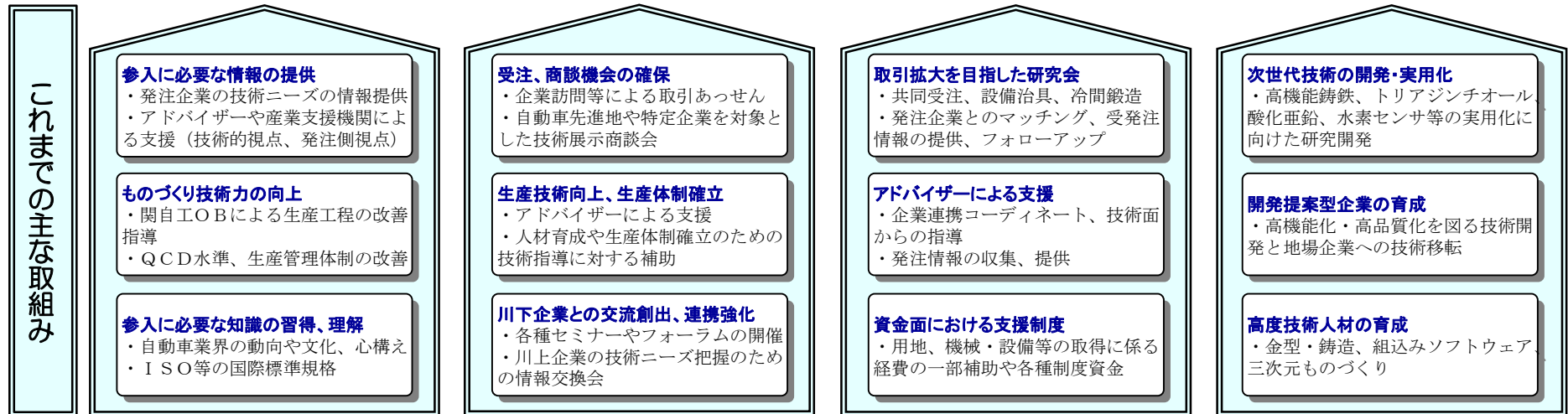
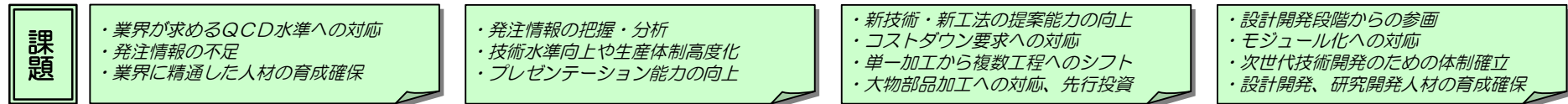
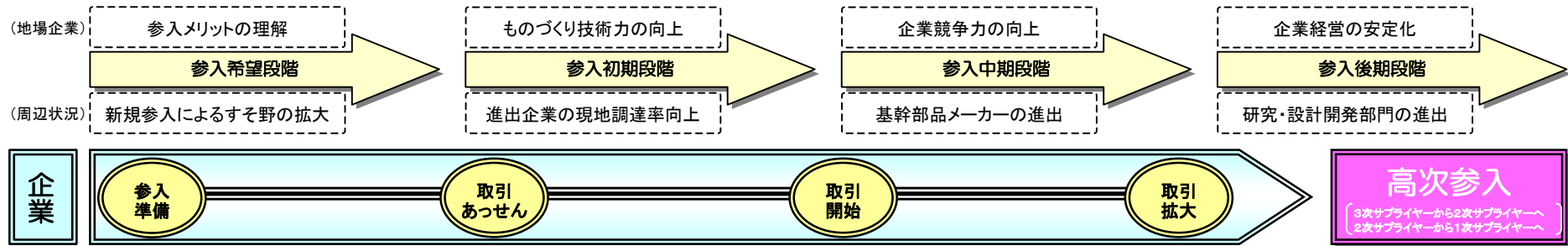
自動車関連産業への参入促進の取組み計画(育てる)

凡例: 継続事業 新規事業 将来事業



地場企業における参入モデルのイメージと主な取組み

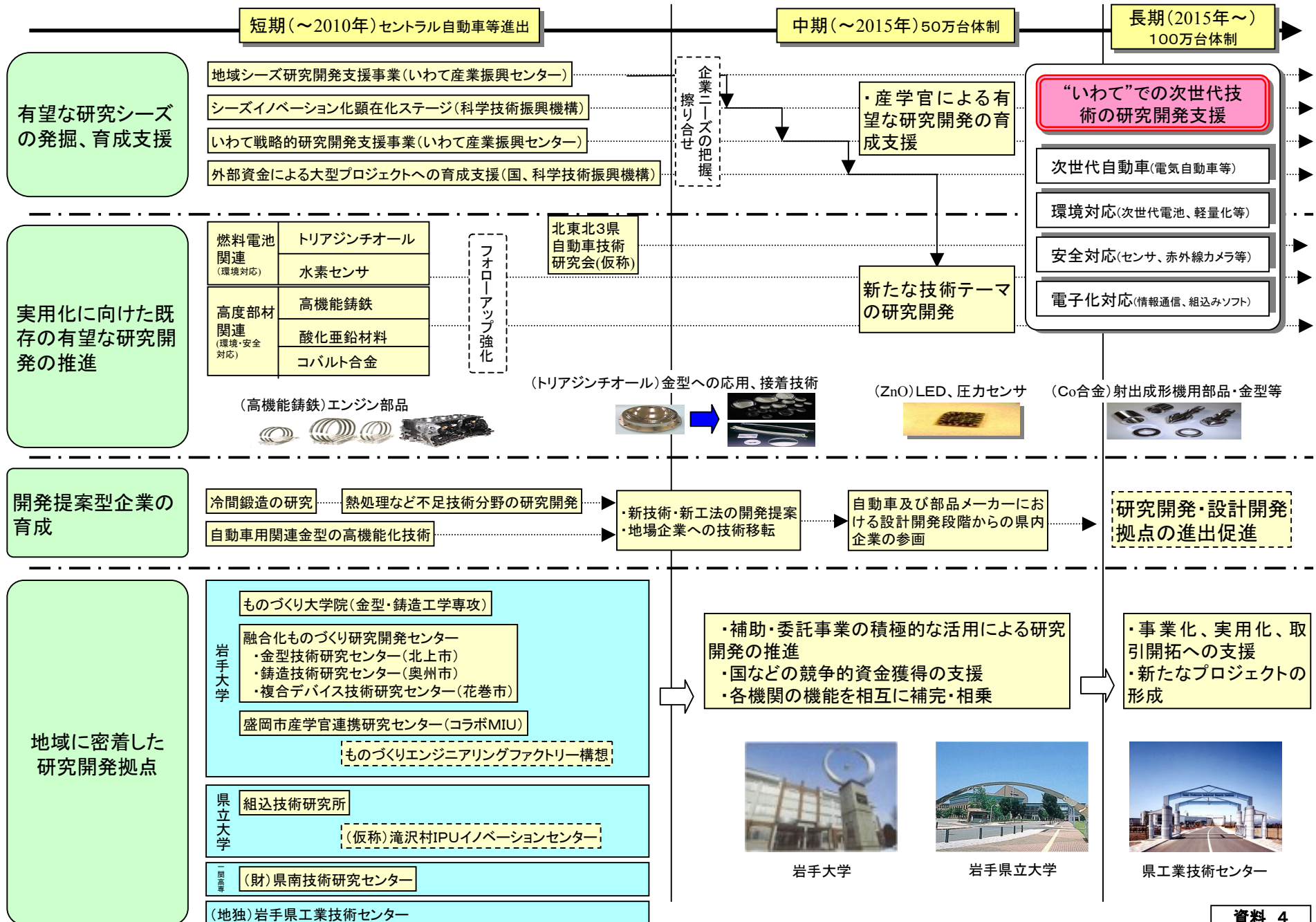
資料 3



資料 3

自動車関連産業の集積促進計画(創る)

資料 4



資料 4

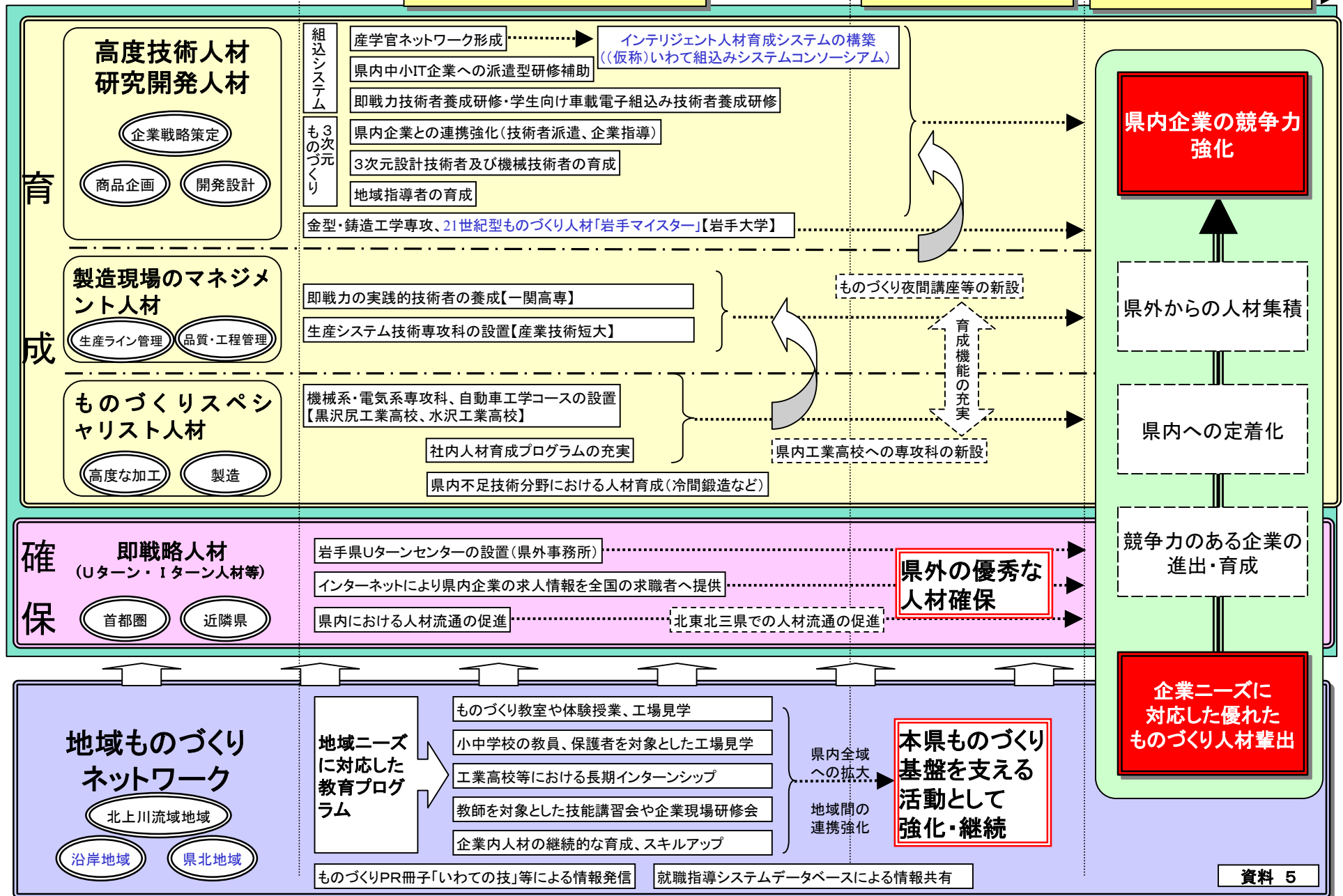
自動車関連産業の集積促進計画(人づくり)

資料 5

短期(～2010年)セントラル自動車等進出

中期(～2015年)50万台体制

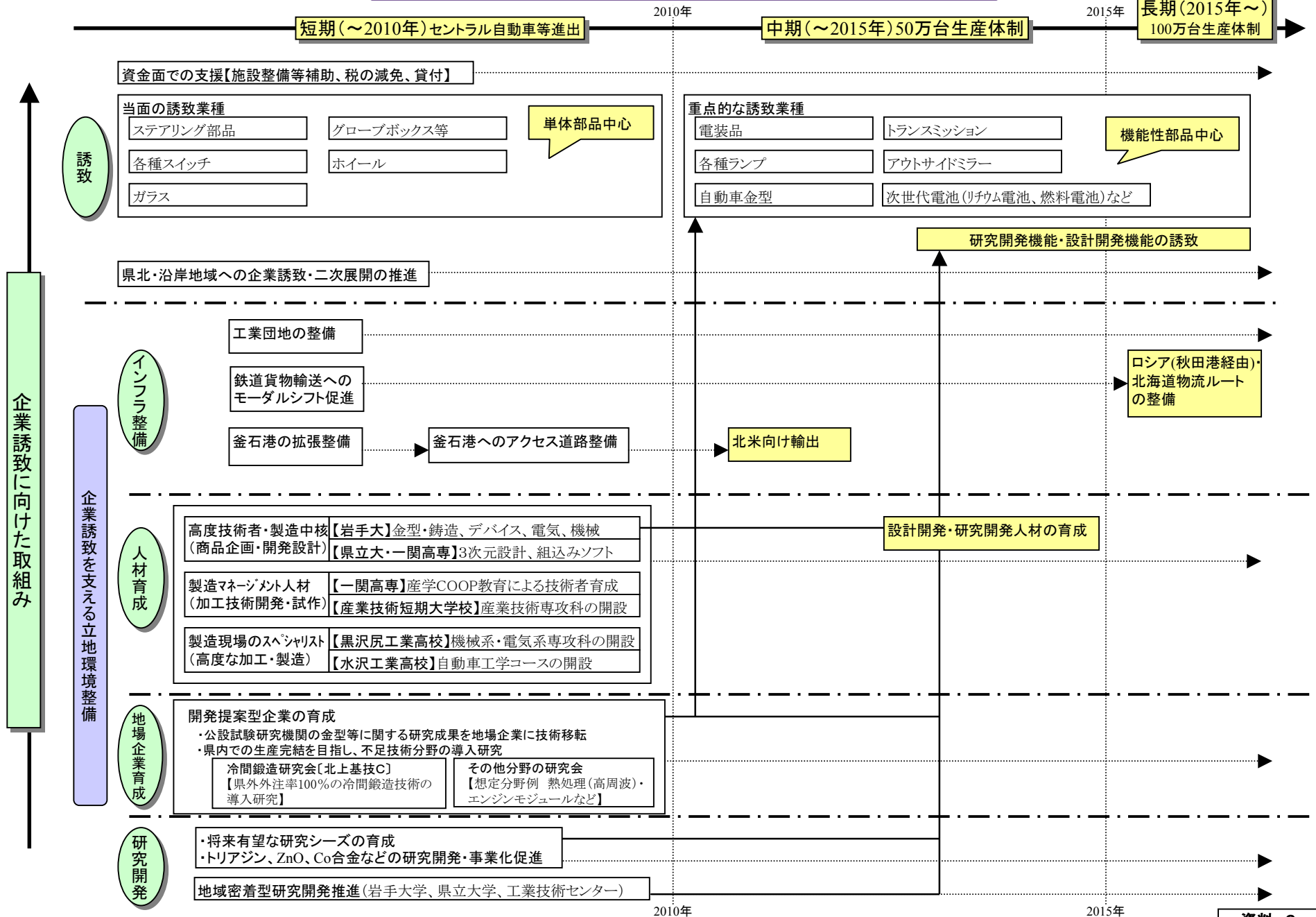
長期(2015年～)100万台体制



資料 5

自動車関連産業の集積促進計画(誘致する)

資料 6



資料 6

「自動車関連産業の集積促進」に向けた岩手県の取組み〔平成20年度〕

参考資料

育 てる	創 る	誘 致 する	人 材 育 成	つ な ぐ	広 域 連 携
◎ 地場企業等の自動車関連産業への参入を促進します ■地場企業のものづくり力強化 ○自動車関連産業創出推進コーディネータの設置 【15年度～ 産業振興センター】 自動車生産管理に精通した専門家（関自工OB3名）を配置 ○工程改善研修会の開催 【16年度～ 産業振興センター】 本県企業のものづくり力強化のため、意欲のある企業を対象にした、コーディネーターの指導による工程改善の研修 ○自動車関連産業集積促進奨励事業 ⇒詳細は、「誘致する」の項目参照 ○いわてものづくりサポート資金 【19年度～ 県、金融機関】 長期低利固定資金の提供、保証料率の軽減など金融機関等との連携支援 ■地場企業の取引拡大 ○取引あっせんの強化 【産業振興センター】 企業訪問等による取引あっせん活動を強化 ○自動車関連技術アドバイザーの設置 【17年度～ 集積支援センター】 技術的観点から参入に向けた指導助言を行うとともに各企業の強みを活かした企業連携・グループ化の取組みなどを推進（民間企業OB1名、19年度から産業創造アドバイザーとして民間企業OB1名を追加配置） ○自動車産業参入促進アドバイザーの設置 【18年度～ 集積支援センター】 発注側視点から地場企業への指導助言を行う専門的人材を工業技術集積支援センターに職員として配置（関自工OB1名） ○自動車関連産業人材育成等支援事業 【18年度～ 集積支援センター】 県内中小企業がサプライヤー等から指導者を受け入れる場合の経費の一部を補助 ■新規技術分野への進出促進 ○サプライチェーン調査の実施 【県、集積支援センター、産業振興センター】 現状のサプライチェーンの把握、今後進出が予想される部品メーカーが必要とする技術分野（特にエンジン、駆動部品、電装部品等）への参入に必要なものを把握し、本県で不足している技術分野を明確化 ○戦略技術研究会の開催 ⇒詳細は、「つなぐ」の項目参照	◎ 産学官連携による自動車関連技術の開発・実用化を進めます ■研究開発テーマの具体化 ○研究開発テーマ調査の実施 【科学・ものづくり振興課】 大学等の技術ポテンシャルやサプライヤーニーズの把握を通じて、研究開発テーマの具体化に向けた調査検討を実施 ○いわて戦略的研究開発推進事業 【科学・ものづくり振興課】 国等の公募型研究事業への提案に向けて産学官の有望な研究開発を育成支援 ■次世代技術の開発促進 ○高機能鉄鉄 【8年度～ 岩手大学】 鉄鉄の欠点を克服し、薄くて強靱な材料や他合金との複合による高強度材料等の研究開発 ⇒自動車エンジン用部品等で実用化 ○トリアジンチオール 【5年度～ 岩手大学】 金属表面に薄膜を形成し、様々な特性を付与できる有機化合物トリアジンチオールを活かした技術の開発 ⇒燃料電池自動車で実用化 ○酸化亜鉛（ZnO）材料 【15年度～ 岩手大学、工業技術センター】 東京電波が開発に成功した酸化亜鉛単結晶を活用した応用製品（デバイス）開発 ⇒LED、紫外線センサー、圧力センサーほか ○水素センサー 【16年度～ 岩手大学】 安価・小型・高感度・高応答性の水素漏れセンサーや水素のみ透過する膜の開発 ⇒燃料電池 ■開発提案型企業の育成 ○新しいわて自動車製造システム開発支援事業 【18年度～ 工業技術センター】 自動車関連金型の高機能化・高品質化を図る技術開発の推進と地場への技術移転	◎ 自動車関連企業の進出・定着を促進します ■既立地企業の増産・2次展開等への支援 ○フォローアップの強化 既立地企業へのワンストップサービス窓口としての活動強化 ○自動車関連産業集積促進奨励事業 【16年度～ 企業立地推進課】 自動車関連企業に対する工場等用地取得・造成、構築物等建設、機械・設備等取得に係る経費の一部補助 ■有力部品メーカー等の誘致 ○トップセールスの実施 知事等による有力部品メーカーへのトップセールスの実施 ○基幹部部品メーカーの立地促進 駆動系、電装部品など基幹部部品メーカーへの誘致活動強化 ○研究開発機能等の立地促進 研究開発機能や新たな完成車工場の誘致活動強化 ○産業集積支援コーディネータの設置 【18年度～ 県名古屋事務所】 誘致活動等を行う人材を県名古屋事務所配置（ヨタOB1名） ○各種優遇制度の活用促進 【18年度～ 企業立地推進課】 ・オーダーメイド型の立地補助金 ・最大20億円の立地融資 ・法人事業税等の5年間減免 ■インフラ整備 ○道路整備 産業振興を支援する（重要港湾と内陸集荷施設を結ぶ）道路等の整備 ⇒新仙人トンネル（18年度供用開始） ○港湾整備 重要港湾の公共埠頭等を整備 ⇒釜石港公共埠頭（18年度供用開始） 釜石湾口防波堤 ○鉄道輸送（モーダルシフト） トヨタ自動車、JR貨物、日本通運による自動車部品の鉄道輸送 ⇒中京地区（名古屋南駅） ～岩手（盛岡駅） →北上新貨物駅検討	◎ ものづくり産業を支える人材が安定的に確保される仕組みを創ります ■ものづくり人材の育成 ○ものづくりネットワーク 【18年度～ 県】 北上川流域、沿岸、県北各地域の産学官によるものづくりを支える人材の育成 ○専門教育コースの設置 【19年度～ 県】 水沢工業高校に専門履修コースを、黒沢尻工業高校に2年の専攻科を、産業技術短期大学に1年の専攻科を設置 ■高度技術・研究開発人材の育成 ○21世紀型ものづくり人材マイスター育成 【19年度～ 岩手大学】 研究開発から生産技術までを一貫して理解できる高度技術者の育成及び基礎研究から試作段階までの実践が可能な仕組みの構築 ○金型・鍛造工学専攻の設置 【18年度～ 岩手大学】 岩手大学に、金型・鍛造分野の高度技術・研究開発人材を育成するための専攻を設置 ○組込み系ソフトウェア人材の育成 【17年度～ 県立大学】 岩手県立大学に、組込み系ソフトウェア開発に対応した高度IT技術者を養成するカリキュラムを創設 ○3次元CAD設計人材の育成 【19年度～ 北上市・県南広域局・一関高専】 部品等の開発設計に不可欠な3次元CAD技術者を育成 ■即戦力人材の育成・確保 ○Uターン・Iターン人材の確保・活用 Uターン・Iターン人材情報の整備と情報提供による人材の確保・活用 ○いわてものづくりアカデミーの開講 ものづくりに特化した生産管理技術など11講座の開講 ○自動車関連産業人材育成等支援事業 【17年度～ 集積支援センター】 県内中小企業が従業員をサプライヤーに派遣して研修する場合の経費の一部を補助 ○組込みソフトウェア競争力強化事業 【18年度～ 産業振興センター、ISC】 成長著しい組込みソフトウェア分野をターゲットに技術力向上、即戦力人材育成、取引拡大などを通じて競争力を強化	◎ 産学官が連携して自動車産業の一大集積地を目指します ■いわて自動車関連産業集積促進協議会 ○川上・川下連携フォーラムの開催 【19年度～】 サプライヤーや地場企業などによる講演など、情報交換・交流の場を通じた川上・川下企業の連携強化・接点拡大 ○特定企業向け展示商談会 【新規】 関東自動車工業（静岡県裾野市）や有力サプライヤー向けに、県内企業が自社技術を売込むための展示商談会を開催 ○逆展示商談会（内覧会）の開催 【検討】 県内に進出している有力サプライヤーによる具体的な発注部品等の商談会を開催 ○戦略技術研究会の開催 【19年度～】 進出サプライヤーや大学等との連携協力の下、特定技術分野での技術力向上や新規技術分野への進出（参入）に向けた研究会を開催 【継続】 ・工程改善研究会 ・部品受注研究会 ・生産設備・治具研究 ・冷間鍛造研究会 【検討】 新規技術分野の研究会 ・熱処理（高周波）分野 ・エンジンモジュールなど	◎ 6県が連携して自動車産業の一大集積地を目指します ■とうほく自動車産業集積連携協議会 ○自動車関連技術展示商談会の開催 【17年度～】 愛知県の一次サプライヤー等への東北各県企業・大学等の技術の売り込み ○特定企業向け展示商談会の開催 【新規】 東北各県へ進出している有力サプライヤー向けに、東北各県の企業が自社技術を売込むための展示商談会を開催 ■東北経済産業局等との連携 ○次世代技術研究会 【19年度～】 東北経済局と連携し、自動車メーカー等のニーズを踏まえた次世代技術の研究会を開催 ○大手サプライヤー招聘逆展示商談会 【検討】 東北経済局、基盤機構等と連携し、中京地区などの大手サプライヤーを招聘した具体的発注部品の展示商談会を東北地域内で開催 ○海外展開支援 【検討】 ジェット等と連携し、海外見本市への出展、海外経済ミッションの派遣などによる技術PR、企業間交流など
これまでの取組みの主な成果 （平成20年6月末現在） - H15以降の参入 46件 ・新規参入 19件（うち地場11件） ・新規受注 27件（うち地場18件） - H3以降のサプライヤーの立地 31社（うち関自工増産発表後 13社）					・工程改善研修の効果 生産性5～25%向上 ・地場企業のグループ化 プラスチック成形の1グループが量産受注獲得 ・ホンダ向け商談会 試作2、見積3 ・刈谷での商談会 成立1、試作5、見積6
					参考資料